



# やすらぎ

第三十五号

編集発行 落合地区社会福祉協議会

一面 敬老会開催

二面 敬老会ハイライトほか

三面 防災、上岩上町内会

四面 ボランティア活動表彰ほか

本日は、敬老のお祝いの席にご招待いただき誠にありがとうございます。

まだ先の事と思い、若いと自負しておりましたが、先日市からの後期高齢者の通知や、敬老会の案内状をいただき、後期高齢者の仲間入りをしたのだなと実感しました。家に引き籠もらず今の体力(足腰)を維持するため、戸外に出て体を動かし地域の行事・活動にも参加し、いつまでも若々しくありたいと思っています。これからも体調に気を付け孫の相手をしながら元気に楽しく過ごしたいと思えます。



## 祝敬老会開催

平成三十年九月十七日

新会員謝辞

石川邦昭



四年前の土砂災害、今年の七・六豪雨災害とありましたが、近隣地区では土石流、家屋流出や床上・床下浸水等、又、尊い命も失われ甚大な被害でした。ここ落合地域は、大きな被害もなく安全で住みよい地域だと改めて思いました。

広島東洋カープの勝敗で一喜一憂し、優勝マジック点灯で元気をもらい、これからも地域のためにお手伝い出来ればと思っています。

## 謹賀新年

落合地区社協会長 室谷正巳

皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は社協の活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、豪雨、地震、台風等の災害により、たくさんの方が被害がありました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、今年には災害のない平和な年となることを祈っております。

今年も引き続き、一人一人が住み慣れたこの地域でいきいきと安心して暮らせるよう、地域全体が助け合い、支え合える街づくりに努力したいと思いますので、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

皆様にとりまして、この一年が幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。



福祉委員による住民憲章朗読



室谷会長挨拶



受付でお出迎え

～米寿の方には記念品が贈られました～



西	本	律	子	岸	孝	子
国	芳	勇	三	廣	畑	道
掛		敬	枝	山	本	和
益	本	静	三	高	橋	三
平	田	健	三	木	村	フジエ
山	本	千鶴	子	大	田	富
星	山	政	子	森	本	道
吉	田	キヨ	子	天	道	俊
大	元	恵美	子	藤	岡	尊

(敬称略)



下岩ノ上いきいきサロンの皆さんによる詩吟



乾杯!



90歳以上の方に花束が贈られました



幼稚園児の踊りと合唱



児童たちによる銭太鼓



### 敬老会に招待されて

岩ノ上第1区 中田 隆一

敬老会に初招待された。出席者は165名、新人(75歳)は15名。会場は90歳を超える長寿者をはじめ、元気な会話に満ちていた。

私も後期高齢者を自覚したが、まだ新人、この先どう生きるかが重要だ。人それぞれ道はあるが、私は今後も社会に役立つよう気象防災の研究や普及に励み、旅立ち後も宇宙天気予報や宇宙旅行を計画している。

関係者の皆様お世話になりました。

### 敬老会に出席して

城ヶ丘第7 山口 ルリ子

敬老会に出席してまず驚いたことに、人の多さ、矍鑠(かくしゃく)した姿勢の良さ、この人たちが本当に75歳以上の人たち?という雰囲気でした。

私もこの仲間に入れていただき、嬉しさ半分、淋しさ半分に浸りました。若い頃には80歳の方にお会いすれば「長生きですね」と言ったものでした。

今では80歳とは青春の真っ盛り。私も健康の為に一日の日課に、笑うこと、10人以上の人に出会うこと、百文字を書くこと、読書すること、1万歩歩くことにしています。これからも諸先輩方の良いところを見習い、健康を保ちつつ、一日一日を過ごすようにしたいと思います。

# 落合学区避難訓練・防災研修会を迎えるにあたり

平成30年度中に全国で発生した主な災害は、7月の西日本豪雨災害など5件発生しました。

このように記録・記憶に残る災害が多発する中、口田学区や深川学区で発生した大規模浸水や土砂災害は、いつかは落合学区でも発生するのではないかとという危機感を一層強く持つことになりました。

そこで、落合学区で町内会、自治会とともに「防災委員」を選出し、町内会長を補佐する立場で防災活動を進めるとともに、防災に高い関心のある方「防災ボランティア」を募集しました。これによって全ての町内会・自治会は、会長を中心に「防災委員・防災ボランティア」とともに防災を進める体制ができてつつあります。

新しい体制で行った「平成30年度落合学区避難訓練・防災研修会」は150名余りの参加者となりました。

防災訓練の基本は「情報伝達」と「避難」です。この基本を守りつつ、参加しやすくしていくという時、役立つ研修メニューとなりました。今後は高齢化社会が進む現状では「助けてもらう方」と「助ける方」が互いに防災意識を高めることによって、災害による犠牲者が少なくなることを進めてまいります。

近々の課題は「災害から命を守る」と「生活しやすく安心した落合学区」を目指すことです。私たち落合学区自主防災連合会は、社会福祉協議会や福祉委員の方と連携しながら「防災委員・防災ボランティア」が一

体となり努力してまいります。今後とも一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

なお「防災ボランティア」として私たちと一緒に活動したい方は柳迫まで連絡ください。  
(090-3740-0325)  
自主防災会長 柳迫長三



土のう作りの訓練



体験を講話する大前氏

# ほたるの光ふたたび

上岩上町内会会長 中村康徳

高台に囲まれた棚田は、町内の中心部を流れる岩上川の用水により、今も秋には黄金色に輝き、周囲の山々の緑を織りなす独特の景観は農業の古い歴史を持つ地域の宝です。

美しい自然に恵まれた上岩上町内会は百二十余りの世帯で、典型的な少子高齢の町内ですが近年十軒の若い家族の入会があり、今後の町内運営に希望の光が差した思いです。

一方、町内の自慢の一つ、岩上川のほたるが激減し、やがてはその姿が見られなくなりそうな現実、誠に残念なことです。

平成九年には、地域の交流の場として上岩上町内が主導して「ほたる祭り」が岩上集会所で、賑やかに産声をあげました。

平成十年、安佐北区役所による「岩上川うるおいあふれる川づくり」をテーマに改修が進められ「ほたるゾーン」が検討されるなど、ほたるの生息しやすい環境を考慮した工法が採用されましたが、度重なる増水や工事の進捗に伴い、ほたるの姿も減少してきました。

平成十五年に絶滅寸前のほたるの復活を目指して「岩上川の

ホタルを育てる会」が発足し、町内の有志による飼育・放流が始まり、落合小学校四年生の教材に取り入れられ、学びの場としても活動してきました。

平成三十一年の下期から予定される最終の改修工事ですべての生息地はコンクリートで固められ、今後護岸壁に草木が茂り川底に土砂が堆積するなど環境が整うまでは、ほたるの生息地は全て消滅することになります。

十五年間続いた育てる会の活動は、当面休眠団体として存続し、飼育・放流等教材としての活動は、今後検討課題となっており、今後検討課題となっており、また、二十一年の歴史を持つ岩上集会所でのほたる祭りは廃止することになりました。河川改修により生息地が消滅した岩上川が、やがて草木の茂る川に生まれ変わりを願って辛抱強く待つことにいたします。幾歳かかるや、ほたるの光ふたたび。

なお、岩上神社で連合町内会により実施されてきた「ほたる祭り」はその名称を変更して今後の交流の場として、町民の絆を深める場としてさらに発展することを祈ります。



### 第35回 町民ふれあい運動会

10月7日、多くの参加を頂き、町民ふれあい運動会が開催され、最後まで僅差の争いが、続きました。結果は次の通りです。

優勝	中・下岩ノ上
準優勝	岩ノ上第一区
3位	高陽台
4位	中坪山
5位	ハイライフ3
6位	上岩ノ上
7位	城ヶ丘1. 2. 3. 4
8位	ハイライフ2
9位	城ヶ丘5. 6. 7

## ボランティア活動表彰

☆総務大臣賞表彰

梅田千秋(城ヶ丘二)

☆安佐北区社会福祉協議会会長表彰

平本陽子(高陽台)

今石由美(高陽台)

☆広島市社会福祉協議会会長表彰

渡邊律子(ハイライフ三)

国司久枝(城ヶ丘七)

永年にわたり地域福祉のために活動していただきありがとうございます。今後ともよろしく、お願いいたします。

広報紙発行にあたり、連合町内会より、協力金を いただいております。ありがとうございます。

### 落合学区献血協力会のお願い

輸血を必要とする患者さんが沢山待っておられます。

皆様のご協力をお願いいたします。

### 献血日

日時 平成31年3月16日(土)  
 会場 マックスバリュ 駐車場  
 時間 午前10時～12時  
 午後 1時～ 4時

## 福祉まつり

日時 平成31年3月9日(土) 10時～

場所 落合集会所

内容 講演会・やすらぎカフェ

※詳しくは後日お知らせします。



手作りパンの販売もあります。皆様のお越しをお待ちしています♪

## 愛の灯



この募金は地区の福祉活動に使います。次の方々から寄付金を頂きました。

- 尾崎 孝子 様
- いでしたクリニック 様
- 落合小学校
- 松島校長 様
- 大原 勝美 様

## 編集後記

今年、自然災害の多い一年でした。広域に大規模な被害が出ました。防災への意識はしつつも、まさか自分のところとはという心理が拭いきれないでいるのも事実です。落合学区でも防災委員やボランティアの体制も進んでいるようです。地域ぐるみで備えをしたいものです。今年もやすらぎを読んでいただきありがとうございます。